

大学生生活における薬物について

薬物乱用とはどのようなことでしょうか？

薬物乱用とは、薬物を社会規範から逸脱した目的や方法で使うことをいい、**一回だけでも、「乱用」にあたります。**

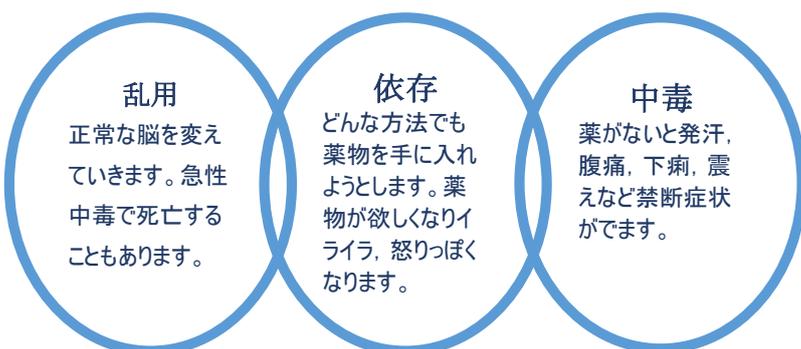
- ⇒ 麻薬、向精神薬、覚醒剤、あへん、大麻、シンナー等は使用・所持・売買について様々な法律により規制されています。
- ⇒ シンナーなどの有機溶剤や各種ガスは、本来の用途以外に吸引することは薬物乱用になります。
- ⇒ 睡眠薬、鎮痛剤などの医薬品を服用する場合に、飲む量が指示されているにもかかわらず、多量に服用することも目的の逸脱になり、薬物乱用になります。

乱用される主な薬物と影響について

興奮させる薬物 脳を刺激して興奮させる薬物	<ul style="list-style-type: none">覚醒剤コカインコカの葉
抑制作用がある薬物 脳をマヒさせ、気分を沈めたり、眠らせるなどの作用がある薬物	<ul style="list-style-type: none">あへん系麻薬（ヘロインなど）有機溶剤（シンナー、トルエン、接着剤など）大麻（マリファナ）向精神薬
幻覚作用のある薬物 実際にはないものが見えたり聞こえたりする異常をひきおこす薬物	<ul style="list-style-type: none">MDMALSDマジックマッシュルーム
危険ドラッグ 麻薬などには指定されていないものの、麻薬などと類似の有害性が疑われている薬物で、人に乱用させることを主な目的として製造され、販売されているもの	<ul style="list-style-type: none">合法ハーブバスソルトお香やアロマオイル

もし薬物を使用したら？

○心身への影響



○社会的な影響

社会的な問題	薬物を入手するための恐喝や窃盗、密売など、事故の多発
家庭問題	生活の乱れ、家庭内暴力
大学生活の問題	欠席、学業不振、友人の薬物への勧誘、けんかをおこしやすく孤立する、薬物仲間の形成
経済的な問題	失業、金銭問題、借金など
対人関係	友人の喪失、孤立

大麻と危険ドラッグ

大麻 クワ科の一年草で中央アジア原産の植物



大麻の花や葉に含まれる THC（テトラヒドロカンナビノール）が脳神経のネットワークを切断し、やる気の低下（無動機症候群）、幻覚作用（大麻精神病）、記憶への影響、学習力の低下、知覚の変化などを引き起こします。大麻は安全である、タバコやお酒より無害、合法であるなど、誤った情報に注意しましょう。

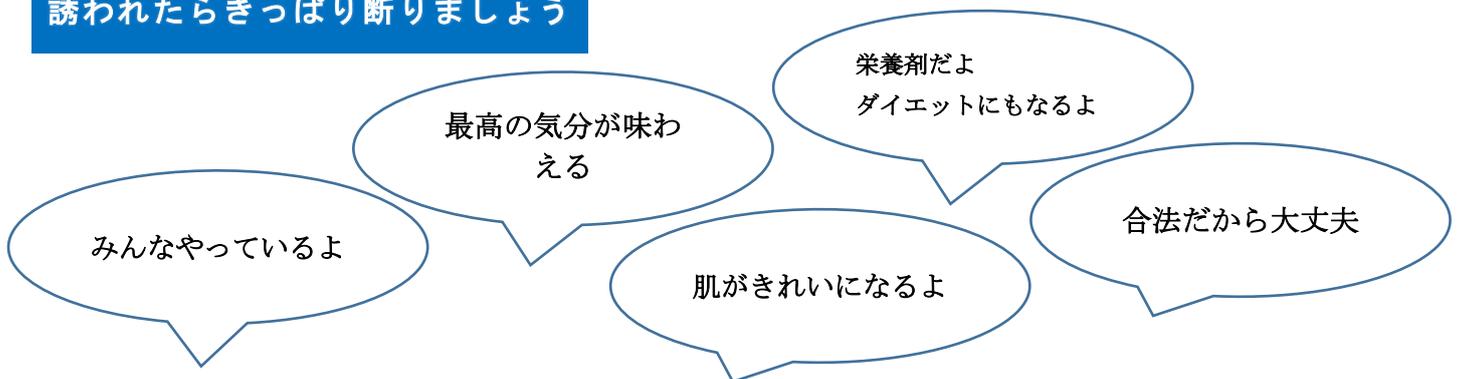
危険ドラッグ



危険ドラッグは、覚醒剤・大麻に化学構造を似せて作られた物質などが添加されたもので、どんな影響が身体に出るのかわからず、乱用による健康被害が発生しており、死に至る可能性があります。違法薬物が含まれていたら、持っているだけで犯罪です。

合法ハーブ・合法アロマ（アロマリキッド）・ハーバルインセンスと称して、主にホームページ、携帯サイトなどで販売されています。

誘われたらきっぱり断りましょう



若者の薬物使用は、知らない人ではなく、彼氏や彼女、友人や先輩などの身近な人に誘われて始めることが多いです。薬物を誘われそうになったらその場を立ち去るのがベストです。「クラブ活動があるから」「今日は出かける約束がある」「病院に行く」。などきっぱり断りましょう。おかしいと感じたらすぐに周囲に相談してみましょう。

薬物に関する情報や相談先

○きょうと薬物乱用防止情報センター

<http://www.pref.kyoto.jp/yakurancenter/index.html>

○あかんよドラッグしたら <http://www.kyotofuyaku.or.jp/drug/>

○京都市こころの健康増進センター 電話075-314-0874